

平成29年1月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

平成29年3月15日

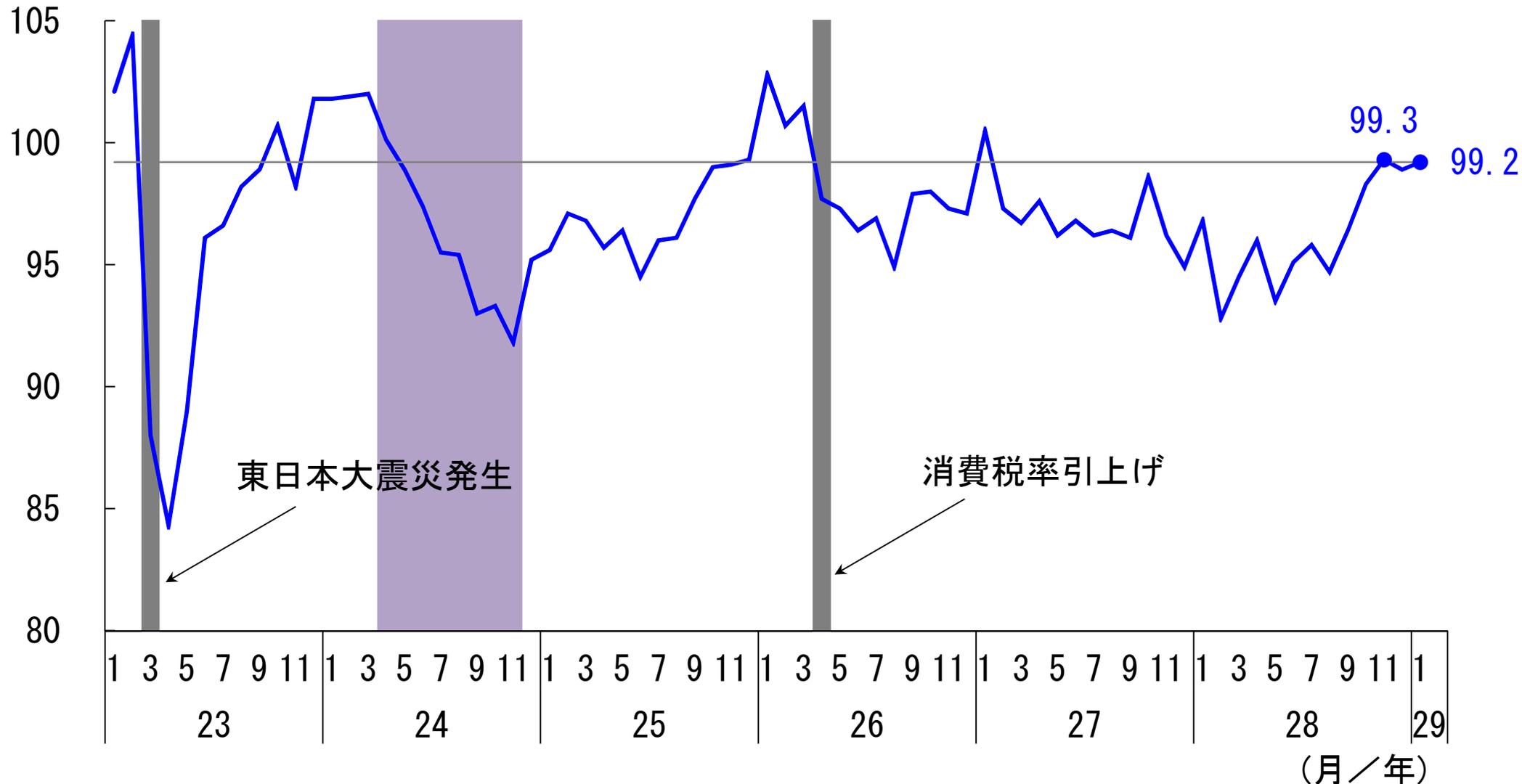
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鋳工業出荷指数の動向

- ・平成29年1月の鋳工業出荷指数は99.2(前月比0.3%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年11月の99.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



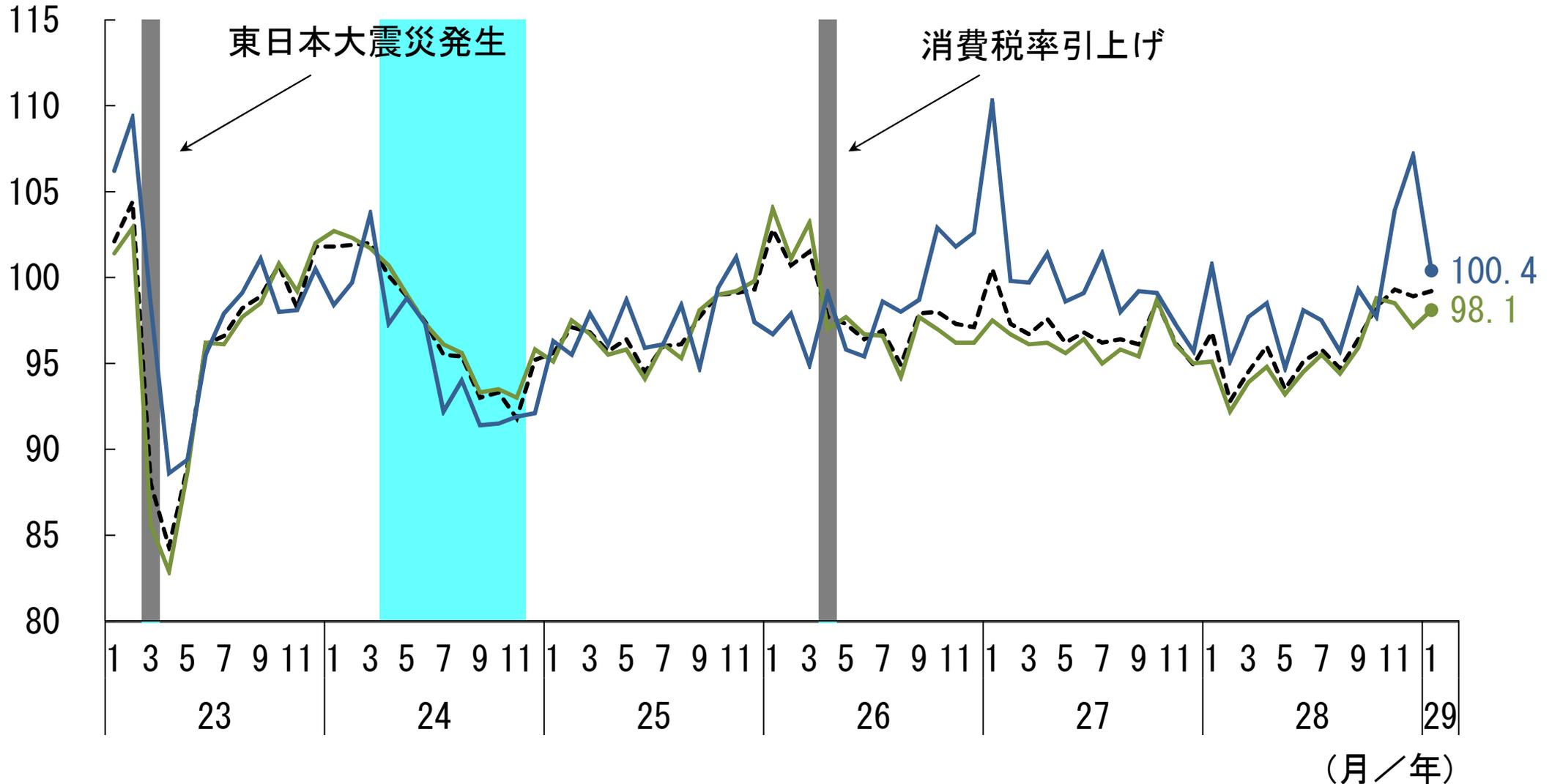
(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成29年1月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは98.1(前月比1.0%)と3か月ぶりの上昇、輸出向けは100.4(前月比-6.3%)と3か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

--- 鉱工業出荷 — 国内向け — 輸出向け

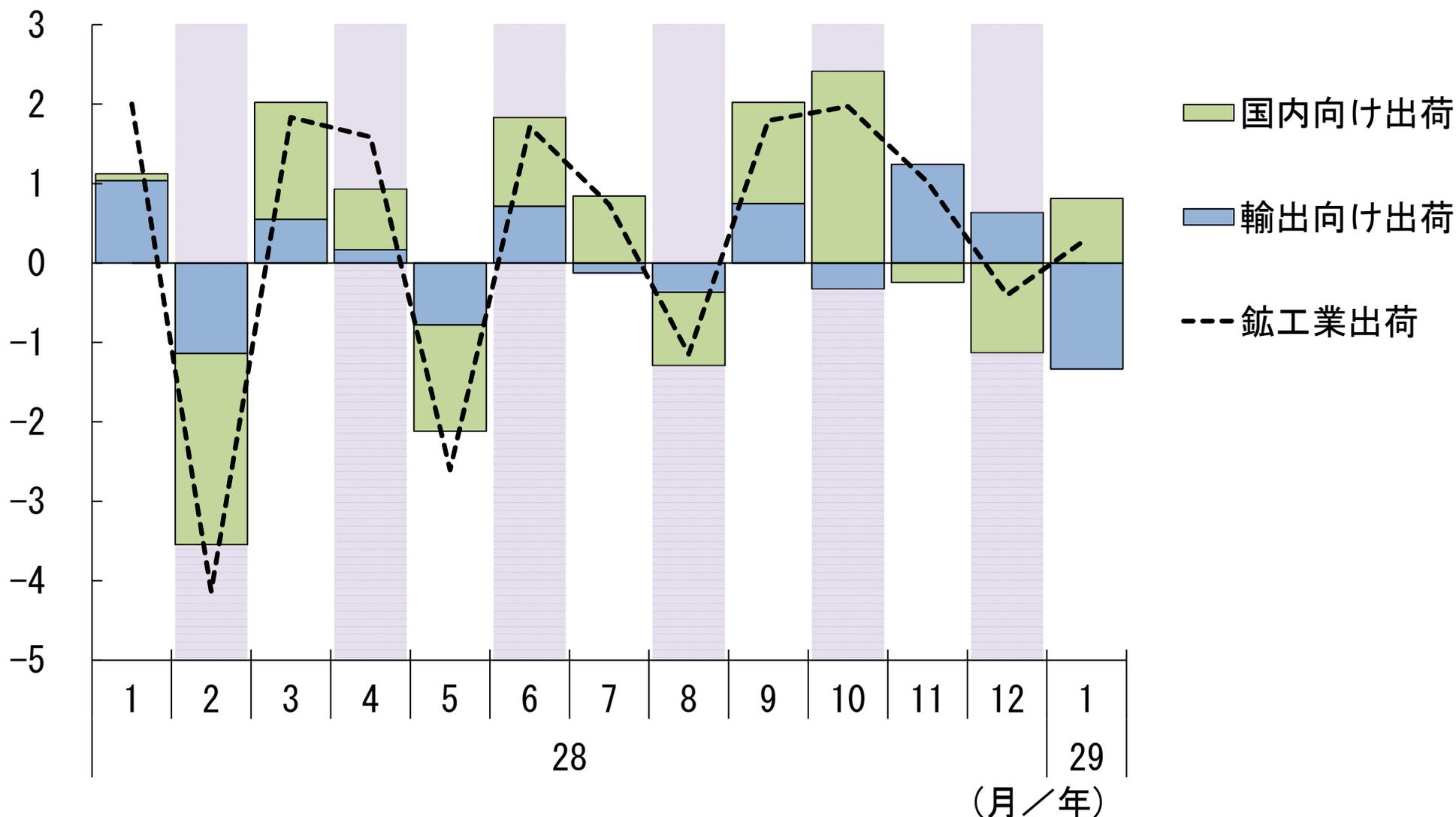


(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

- 平成29年1月の鋳工業出荷は輸出向けは低下したものの、国内向けは上昇したため、前月比0.3%の上昇。

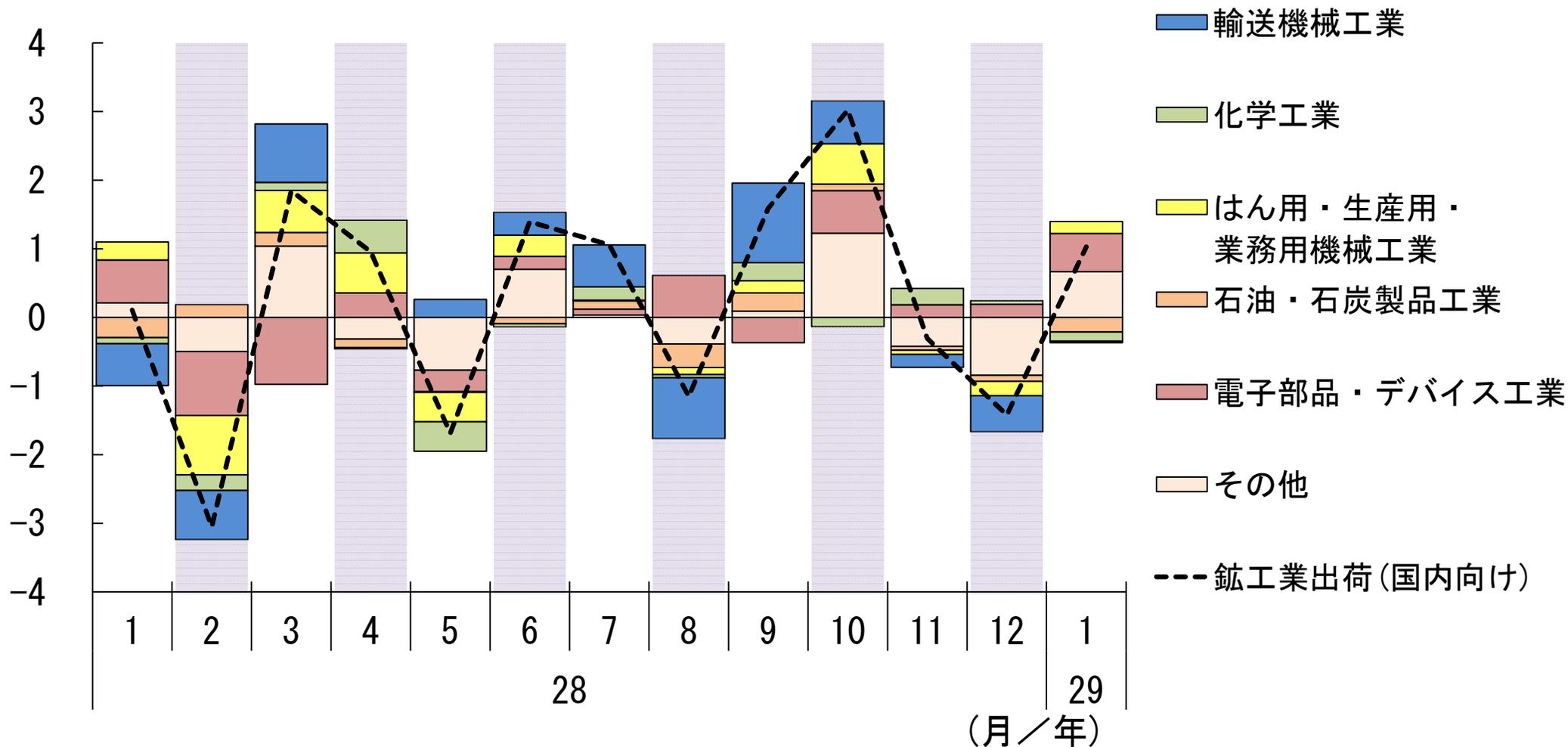
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年1月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、石油・石炭製品工業などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



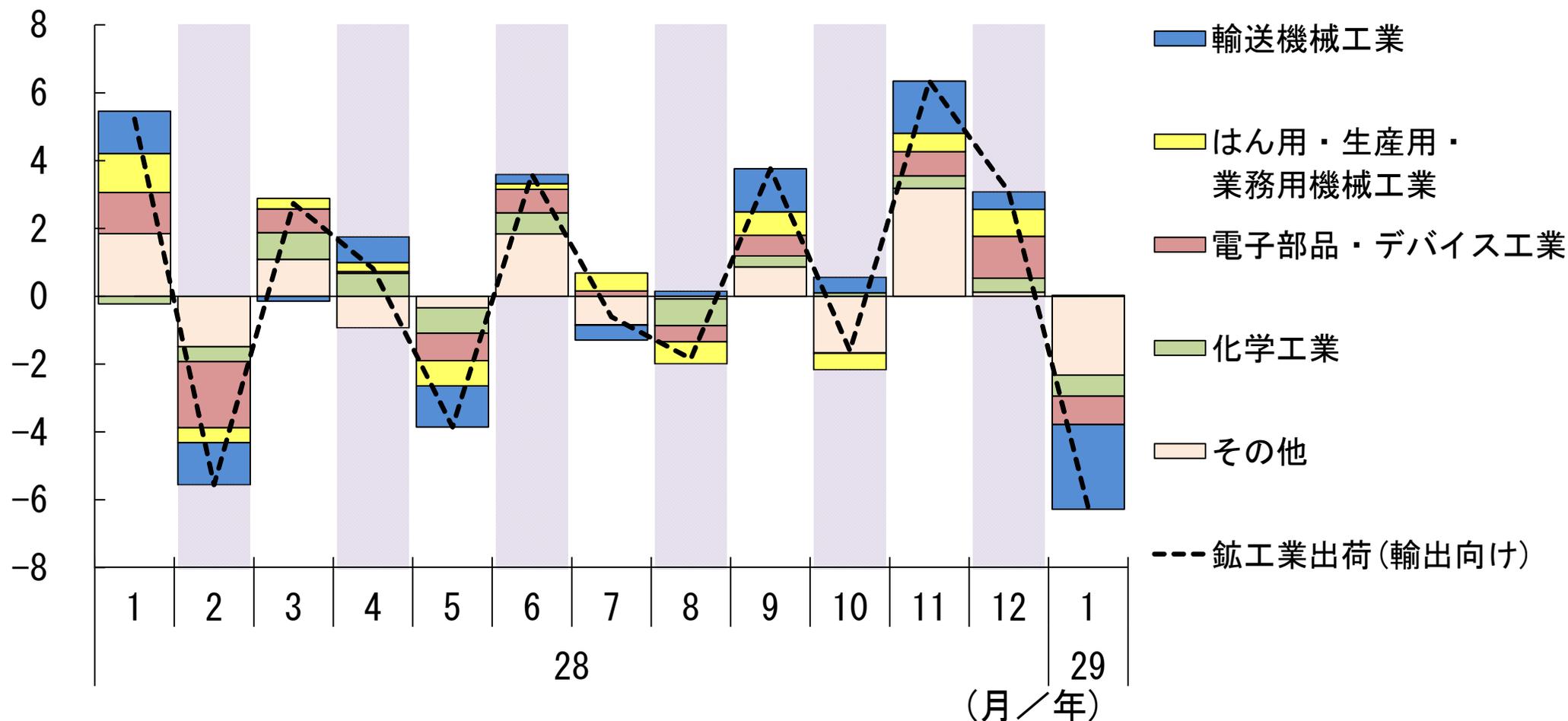
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、運輸機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年1月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業が上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



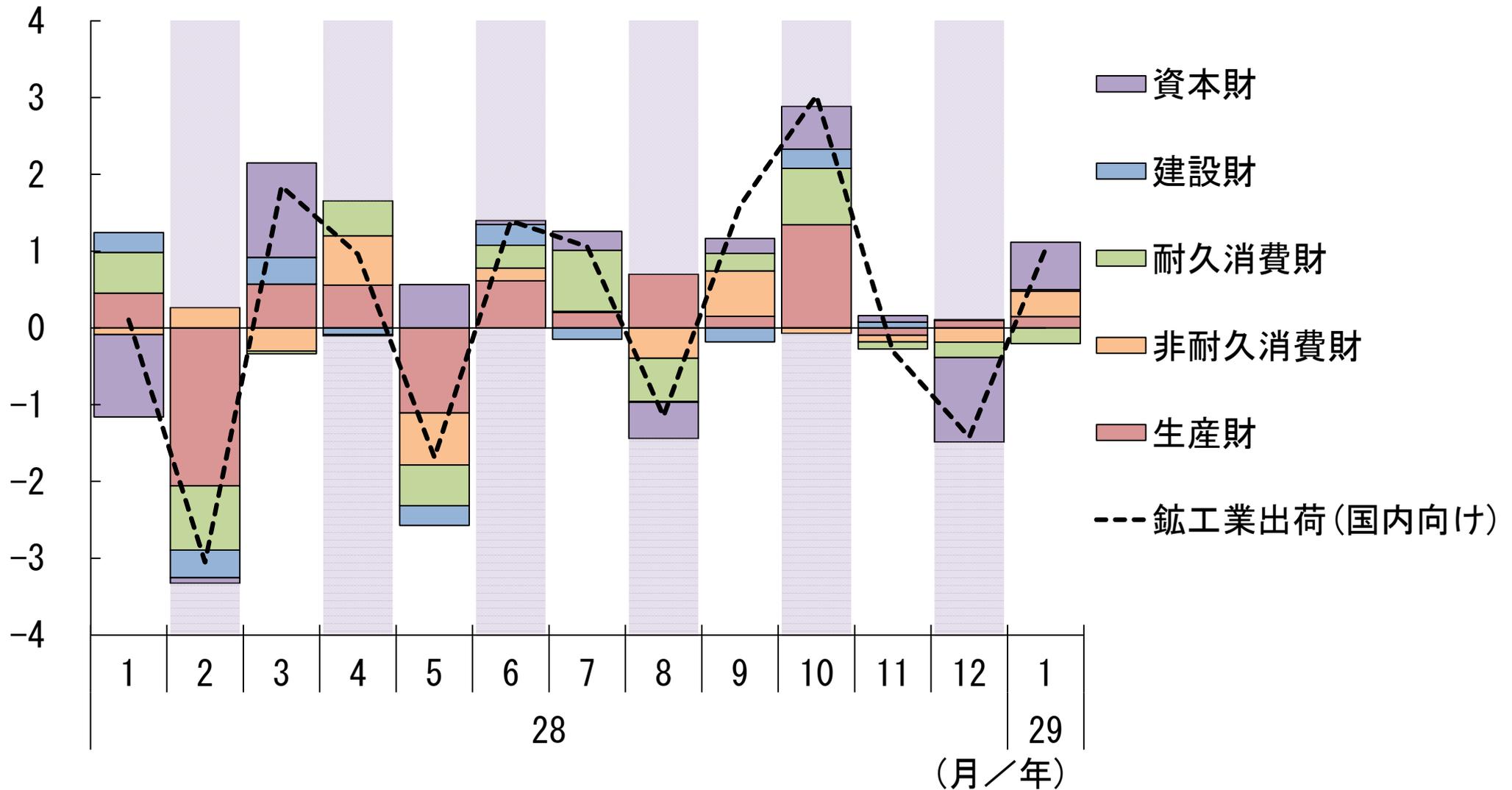
(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 平成29年1月の国内向け出荷を、財別にみると、耐久消費財が低下したものの、資本財などが上昇。

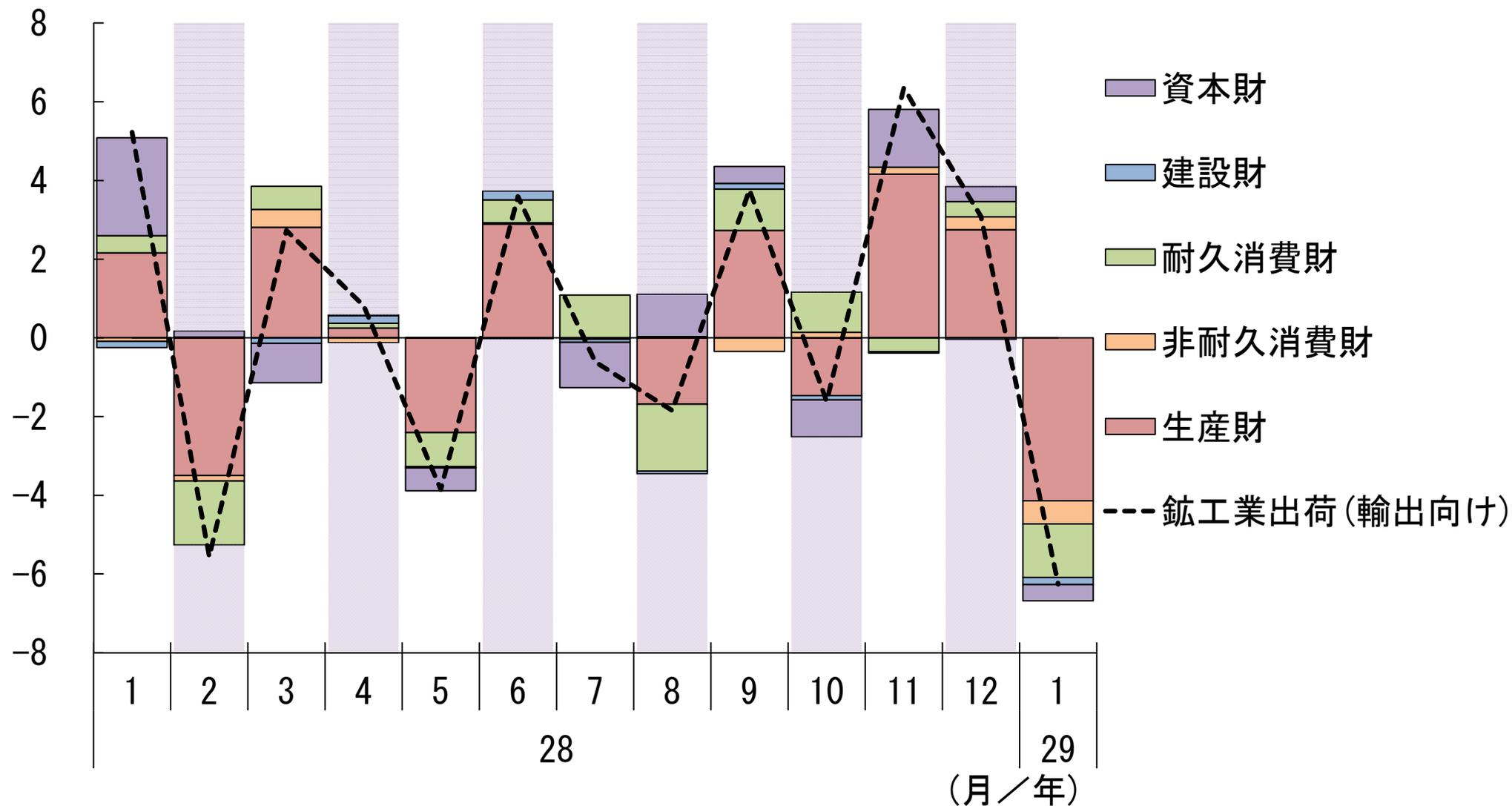
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 平成29年1月の輸出向け出荷を、財別にみると、生産財などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成29年1月の国内向け出荷前月比 財別・業種別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	1.0	267.6
資本財	3.4	160.7
輸送機械工業	17.8	198.9
はん用・生産用・業務用機械工業	2.4	58.5
非耐久消費財	2.4	85.9
食料品・たばこ工業	7.0	104.8
繊維工業	12.4	10.7
鉱工業用生産財	0.5	56.4
電子部品・デバイス工業	8.1	156.8
非鉄金属工業	7.2	43.2
建設財	0.3	5.1
金属製品工業	3.8	26.7
プラスチック製品工業	0.7	0.6
その他用生産財	-2.7	-37.2
石油・石炭製品工業	-3.8	-30.3
電気機械工業	-33.5	-5.8
耐久消費財	-1.5	-53.2
輸送機械工業	-9.1	-244.6
	-	-

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

平成29年1月の輸出向け出荷前月比 財別・業種別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	-6.3	-440.3
鉱工業用生産財	-7.2	-299.9
輸送機械工業	-12.5	-106.1
電子部品・デバイス工業	-6.7	-58.0
耐久消費財	-10.3	-95.6
輸送機械工業	-11.4	-89.1
はん用・生産用・業務用機械工業	-27.3	-5.1
非耐久消費財	-17.0	-41.4
化学工業	-15.6	-19.3
食料品・たばこ工業	-38.8	-14.7
資本財	-2.1	-28.7
輸送機械工業	-6.9	-26.3
電気機械工業	-12.2	-20.8
建設財	-10.7	-13.1
鉄鋼業	-23.8	-5.6
プラスチック製品工業	-12.8	-4.5
その他用生産財	4.2	10.9
石油・石炭製品工業	15.6	21.7
電子部品・デバイス工業	6.8	0.2

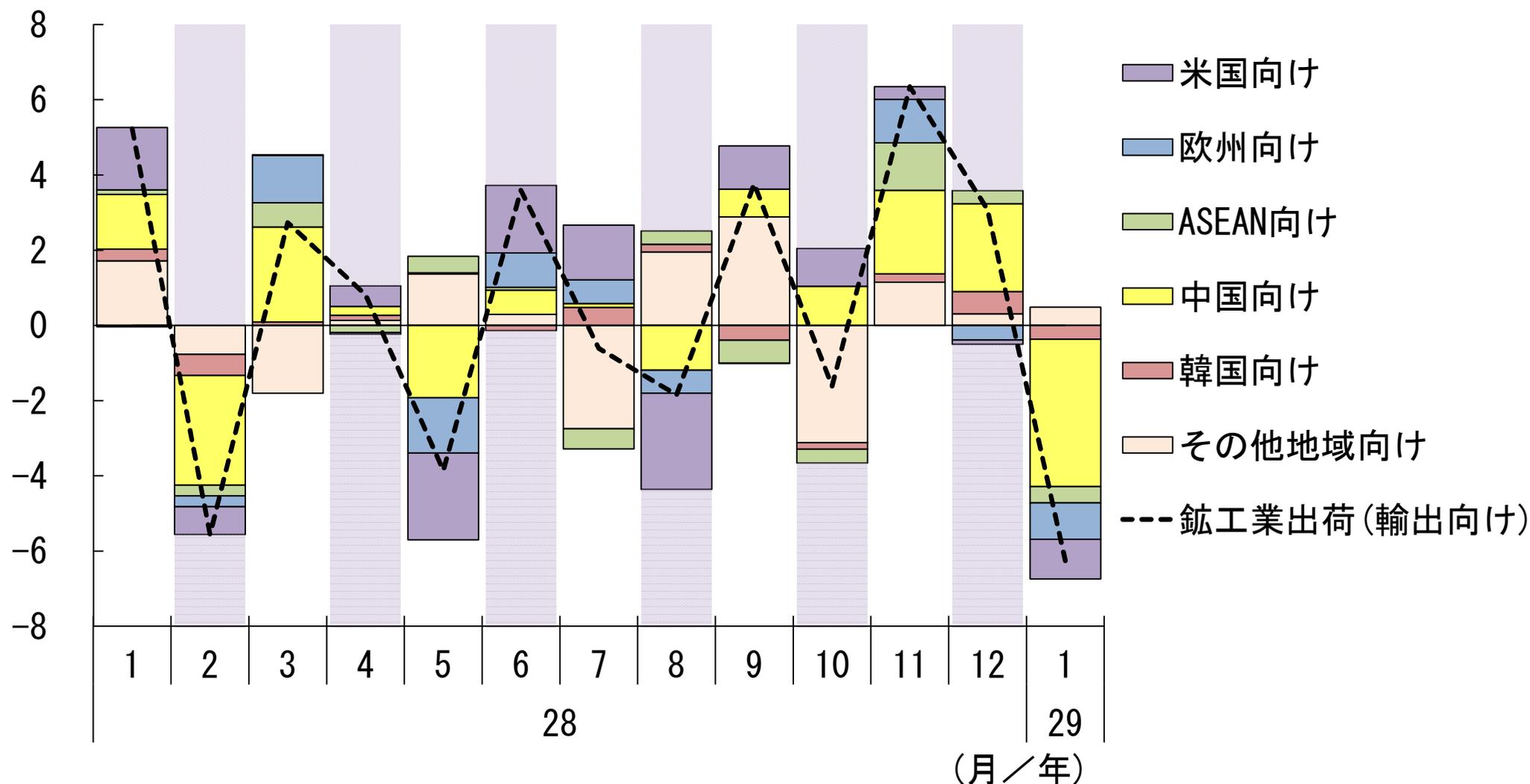
寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

- 平成29年1月の輸出向け出荷を、地域別にみると、その他地域向けが上昇したものの、中国向けなどが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

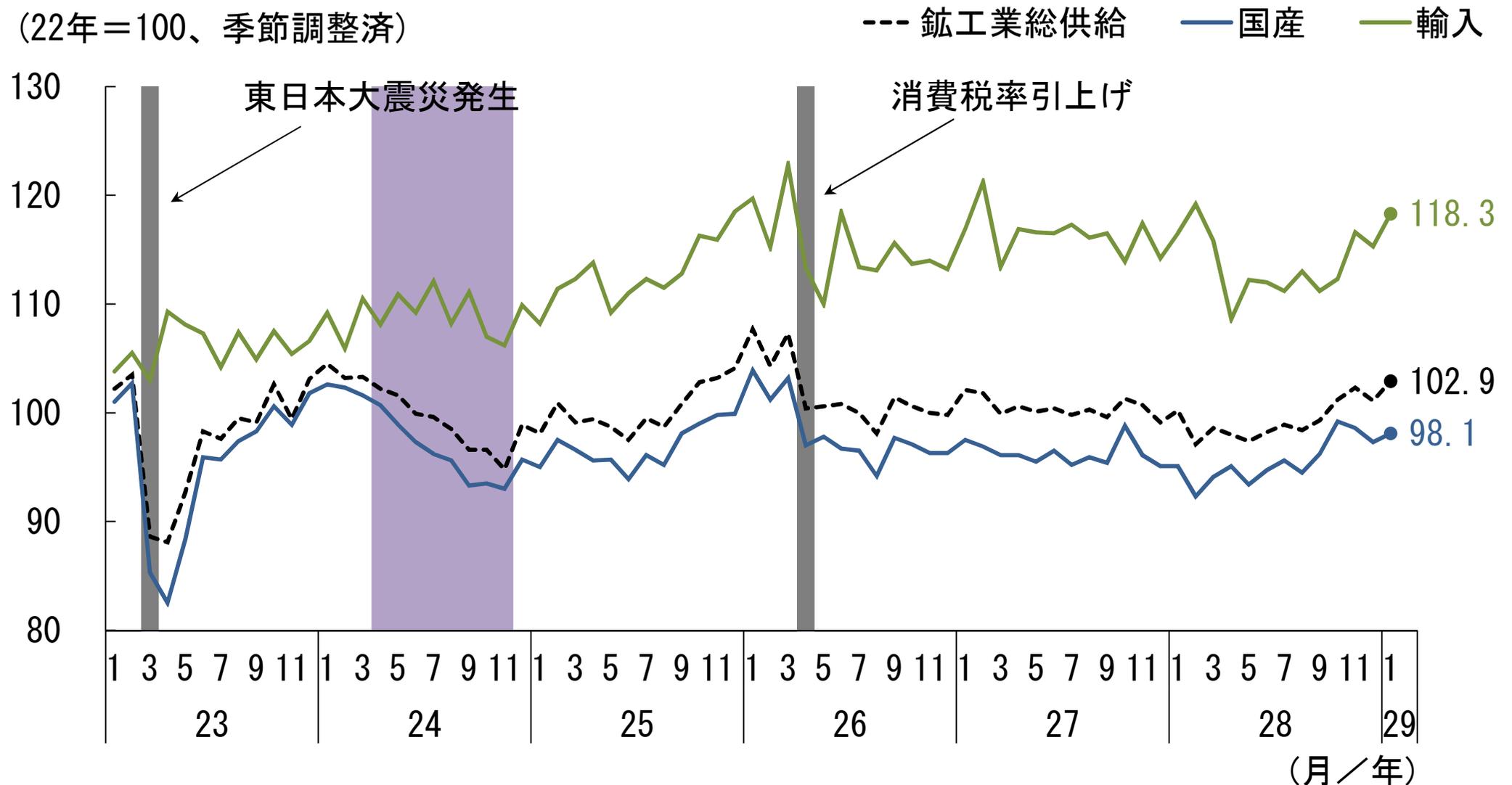


(注) 試算値。

鉍工業総供給指数の動向

- ・平成29年1月の鉍工業総供給指数は102.9(前月比1.8%)と2か月ぶりの上昇。
- ・内訳をみると、国産は98.1(前月比0.8%)と3か月ぶりの上昇、輸入は118.3(前月比2.6%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。